

科目名	プロジェクトデザイン	英語科目名	Project Design
開講年度・学期	平成21年度・後期	対象学科・専攻・学年	全専攻・1年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	学習単位(15+30)
担当教員	尾立 弘史他	居室(もしくは所属)	建築学科棟2Fデザインスタジオ内
電話	0285-20-2835	E-mail	oryu@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
与えられたテーマに対して自らの発想でプロジェクトが設定できる。 プロジェクトに対して達成のための適切なプロセスを探ることができる。 専門分野の異なるメンバーのチーム内で良好なコミュニケーションができ、作業が分担できる。 プロジェクトの進展内容と結果を適切にプレゼンテーションができる。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
プロジェクトの段階ごとに適切な提案のレポートが作成できる。 共同作業により適切な作業プロセスが設定でき、プロセスのスケジュール管理ができる。 プレゼンテーションが説得力を持つ。			
評価方法			
指導教員の評価 40% (プロジェクトの内容、レポートの内容、スケジュール管理、プレゼンテーション) チーム内の相互評価 30% (コミュニケーション・作業の貢献度)、 他チームの評価 30% (プロジェクトの新鮮さ、プレゼンテーションの説得力)			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
ひとつのテーマに対して2~5週程度で実施する班別の共同作業である。  共通：ガイダンス、テーマ、スケジュール説明班分け、  班別：テーマごとに、必要に応じて以下の作業を繰り返す。 1、プロジェクトの設定、代表者選出 2、マーケティング 3、プロセスの設定 4、仕様書・詳細設計、 5、製作 6、プレゼンテーション 7、評価 作業内容はテーマによって異なり、必須作業の指示がある場合もある。  テーマは確定していないがおおよそ以下のようなものを想定している。 1、技術と人間環境を融合した空間デザイン 2、地震時の高層アパート難民支援器具 3、家事援助ロボット 4、新業態の店舗 5、新しい介護ビジネス	テーマとそのプロジェクトにより毎回指示する。共同作業であるが、提出するレポート類は個人別が大半である。	計60時間	
自学自習時間合計			60
キーワード	創造性、チームワーク、プロセス管理		
教科書			
参考書			
小山高専の教育方針①~⑥との対応	②		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
(B-3) 技術的課題や問題の全体的な解決方法を明らかにできる。 (C) 技術と自然や社会のかかわりを理解する。			
JABEE 基準1の(1)との関係	d(2-c)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	各学科専門科目全般		
現学年の関連科目	システムデザイン、産業財産権		
次年度以降の関連科目	技術者倫理、特別研究		
連絡事項			
テーマごとに指導教員が変更になる。			
シラバス作成年月日	2009年3月		